

ずいぶんと長い冬でした。何度も雪かきをして、かなり鍛えられましたが、心筋梗塞や脳卒中等のハプニングに注意しながらマイペースでやりました。4月になって超大型台風並みの爆弾低気圧（はじめて知った用語です）がやって来て、雪も降りました。やっこのことで春らしくなったかと思うと、桜の花の命のなんと短いことか！兼六園では梅と桜の競演がみられました。早春の花の水仙や沈丁花が桜と一緒に咲くなんて！レンギョウ、ユキヤナギ、チューリップまで同時に開花し、八重桜もあつという間に散ってしまいました。満天星の花付きが悪いのは、寒すぎたからでしょうか？例年にみられないことが続くのは、やはり異常な気象だったのでしょうか。ところで、天候のせいにするつもりは全くないのですが、「かばごん」春号も発行が遅れてしまいました。春が過ぎ、もう新緑の季節です。長かった冬のストレスを解放して、何か新しいことをはじめてみませんか？

### [最近目立つ病気]

インフルエンザはA型はほぼ終息し、4月末現在B型がまだみられています。ウイルス性胃腸炎と溶連菌感染症が依然として流行中です。ウイルス性胃腸炎には特効薬はありません。脱水症に注意して、根気よく水分補給をするしかありません。小児ではロタウイルスが最も注意を要するウイルスです。激しい嘔吐と下痢のために一晩で重症の脱水に陥ることがあります。溶連菌感染症は免疫がつかないために、何度も繰り返すことがあります。今冬は特に多く、インフルエンザと重複して罹患された方もかなりいらっしゃいました。マイコプラズマ肺炎も依然として目立ちます。頑固な咳と高熱が続く、全身状態の良い場合はマイコプラズマ肺炎の可能性がります。水痘、おたふくかぜも少なめですが、みられています。花粉症は、この時期に多いですが、例年に比べて軽症の方が多くに思えます。症状が出る前にあらかじめ服薬しておく、軽症化するという事が広く知られてきたことも一因です。



### [出席停止基準の変更]

学校保健安全法が改正され、4月から感染症の出席停止基準が変更になりました。

(1) インフルエンザ：発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで。

(2) 百日咳：特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。

(3) 流行性耳下腺炎：耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。

今までは[インフルエンザは解熱後2日を経過するまで。百日咳は特有の咳が消失するまで。流行性耳下腺炎は耳下腺の腫脹が消失するまで。]

でした。この基準だと百日咳と流行性耳下腺炎については出席停止がかなり長くなる可能性があります。また、インフルエンザについては抗インフルエンザウイルス剤によって有熱期間が短縮したために感染力のある状態で登校（登園）することが多くみられた可能性があります。今回の改正で、これらのことが適正化されたように思います。

### [HPV ワクチン等の公費助成継続]

平成24年度もHPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成制度（全額助成）は継続されることになりました。金沢市では、今年度はこれまでの償還払い方式から助成券方式に変更されます。ただし、助成券が発送されるのが5月末になる予定ですので、それまでは従来どおり償還払いとなります。助成券方式となれば、窓口での負担がなくなりますので今までも受けやすくなります。詳しくは金沢市保健所のホームページをご覧ください。  
[http://www4.city.kanazawa.lg.jp/23030/iryou\\_jyousei/vaccine.html](http://www4.city.kanazawa.lg.jp/23030/iryou_jyousei/vaccine.html)



### [不活化ポリオワクチンの承認]

厚生労働省によると、本年9月1日より、単独不活化ポリオワクチンの定期接種を導入することになりました。また、現行のジフテリア・百日咳・破傷風3種混合ワクチンに不活化ポリオワクチンを加えた4種混合ワクチンも11月には導入の予定です。接種方法は、現行の3種混合ワクチンと同じやり方になります。4種混合ワクチンが使えるようになるまでは、ポリオ単独ワクチンによる接種となります。また、1度でも3種混合ワクチンを接種した方は4種混合ワクチンは使えませんので、ポリオ単独ワクチンによる接種となります。ポリオ生ワクチンを1回接種した方は3回のポリオ単独ワクチンを受け

る必要があります。

対象となる方は、この春のポリオ生ワクチン接種をどうすべきか、悩まれていると思います。2回目の方はこれで終了となるので受けておくべきです。1回目の方も受けるべきだと思います。ただし、不完全な免疫なので、完全な免疫をつけるためには上述のように3回のポリオ単独ワクチンの接種を今秋から受けてください。

### [ワクチン接種後の注意]

いかなるワクチンでもアナフィラキシーショックを起こすことがあります。特に、接種後30分間は要注意です。当院では今まで、変わったことがあれば、すぐに来院してくださいとしていましたが、今年から接種後30分は院内、あるいは当院駐車場の車内で様子を見てもらうことにしました。ショック、失神、じんま疹や気分不良等の症状にすぐに対応できるようにするためです。ご理解のほど、お願い申し上げます。



☆大手町の夜間急病診療所（Tel:222-0099）では午後7時から11時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は5/24・6/14・7/5・7/26の予定です。

☆麻疹・風疹ワクチンの第3期（中学1年生）、第4期（高校2・3年生）を実施しています。必ず接種しましょう。

☆金沢市では幼児期の任意接種のワクチン（水痘・おたふくかぜ・インフルエンザ）についての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆世界の宝「憲法9条」を次の世代に贈りましょう。

